

地下水質測定結果について（平成 27 年度）



環境省は、平成 27 年度における地下水質測定結果及び全国の地下水汚染事例における汚染原因・対策等の状況を把握するための調査の結果を取りまとめました。

全国的な地下水質の状況を過去5年間の調査結果でみると、VOC（揮発性有機化合物）が環境基準を超過した井戸がある市区町村数は 292 で、全市区町村の 17%（前年度 20%）を占めました。同様に重金属（鉛、砒素、ふっ素等）では 16%（前年度 20%）、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素では 21%（前年度 26%）でした。

また、平成 27 年度の概況調査の結果としては、全体の環境基準超過率（何らかの項目で環境基準を超過した井戸数／全調査井戸数）が 5.8%（前年度 6.2%）でした。項目別では平成 11 年度以降、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の環境基準超過率が最も高く、平成 27 年度調査結果は 3.5%（前年度 2.9%）でした。

同様に継続監視調査（定期モニタリング調査）の結果としては、基準超過の井戸数が最も多いのは、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素で、次いでテトラクロロエチレンでした。

当社では、多くの地下水項目の分析について長年の実績があり、短納期での対応が可能です。ご不明な点等ありましたら、是非一度ご相談ください。

資料 平成 28 年 12 月 22 日付 環境省報道発表資料

環境検査箇所 清水圭介